

下水道機構の『新技術情報』 第124号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

毎晩、水を張ったバットを庭に出してまっていたのは、我が家の「初氷」でした。連休は列島各地で寒波に見舞われましたが、我が家でも今冬初めて氷ができました。まだまだ寒さ厳しい日が続くようですが、うがい、手洗いをこまめに体調管理に気を付けましょう♪

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第124号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・1月の技術サロンは国土交通省水管理・国土保全局下水道部那須町村下水道対策官をお迎えして開催しました

■機構の動き

・今週は、特に予定はありません

■Tea Break

・海外旅行(総務部 Y. N さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・本日はお休みします<m( )m>

■国からの情報

・1/10 付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話です)

●1月の技術サロンは国土交通省水管理・国土保全局下水道部那須町村下水道対策官をお迎えして開催しました

年が明けて、平成26年最初のサロンは、先月24日に閣議決定されたばかりのホットなテーマで「平成26年度下水道事業予算について」でした。社会資本整備交付金、防災・安全交付金については、他事業を含めた全体の予算額と拡充点等のポイントを、そして下水道事業費補助、下水道事業費調査費等については、事業費と民間活カイン

ベーション推進水道事業の創設など新規事項等のポイントをご講演いただきました。

今回、公共団体からの参加者はいらっしゃいませんでしたが、下水道老朽管の緊急改築推進事業の拡充ポイントの際は、サロンらしくその場で公共団体の意見も伺いたいなどという場面もありました。那須対策官は、環境省在籍時代を含め3回目のサロンのご講演となります。最後に「4回目も…」という嬉しいお言葉もいただきました。

さて、次のサロンは、2月13日(木)17:00から18:00。ゲストには川崎市上下水道局下水道部計画課長 松川一貴氏をお迎えして「川崎市における今後の下水道事業の方向性について」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！お申し込みは機構ホームページから→

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

---

。○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○。

○平成26年1月29日(水) 9:30~17:30

行 事：平成25年度第2回審査証明委員会

場 所：機構8階 特別会議室

議 案：平成25年度 建設技術審査証明(下水道技術)の各依頼技術の報告書の審議、および質疑応答、答申

○平成26年2月7日(金)【大阪会場】13:00~16:45

平成26年2月14日(金)【東京会場】13:00~16:45

行 事：第19回新技術研究発表会

詳細、お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-info>

---

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●海外旅行(総務部 Y. Nさんからの投稿です)

昨年の夏休みにスイスとスウェーデンへ。日本が猛暑だったためか、スイスもスウェーデンも気温は20℃前半で快適な旅行となりました。スイスは山々に囲まれた街が多く空気が美味しく、スウェーデンは澄んだ空気に射す輝かしい日差しが印象的でした。

今回訪れた場所がスイスとスウェーデンという離れた場所となったのは、私がスウェーデンを希望し、相方がスイスを希望したからです。

スイスとスウェーデンに行くパック旅行はもちろんなく、航空券とホテルだけ日本で段取りをして出発しました。

スイスでの移動は鉄道が中心でしたが、初めての場所なのでどの電車に乗ればいいのか分からず、乗る電車を間違えてしまいました。乗った後に間違ったことに気が付



★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○インドネシア ジャカルタ特別州チリウン川地下放水路建設事業への  
本邦下水道推進工法関連企業の参画について【下水道企画課】

○より一層の汚濁負荷削減に貢献する下水処理技術を募集しています！

【流域管理官】

●国内最大規模の『水ビジネスの国際戦略拠点』整備が本格スタート  
～日明浄化センター管理棟の建替えに着工～【北九州市】

●2/7(金)大阪、2/14(金)東京で、下水道新技術研究発表会を開催します  
【下水道機構】

●「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」  
説明会の開催について【全国上下水道コンサルタント協会】

=====

○インドネシア ジャカルタ特別州チリウン川地下放水路建設事業への  
本邦下水道推進工法関連企業の参画について【下水道企画課】

インドネシアのジャカルタ特別州チリウン川地下放水路建設事業に本邦下水道推進  
工法関連企業が参画することになりましたので、お知らせいたします。

本事業は、平成25年1月にジャカルタ特別州で発生した大洪水を受けて、大統領命  
令により事業化された放水路建設事業で、本邦下水道技術がジャカルタ特別州の洪水  
被害の軽減に大きく貢献するものです。本邦下水道推進工法関連企業JVが、設計施工  
計画・施工指導およびそれに伴う資機材の提供を通じ、本事業の推進に協力してい  
きます。

国土交通省では、下水道グローバルセンター（GCUS）の活動等を通じ、アジア  
を中心とした海外への下水道システム等のインフラ輸出に関する官民連携した取り  
組みを推進しています。今般事業参画に至った本邦企業もGCUSの会員企業です。イ  
ンドネシアにおいても、これまで、下水道推進工法に関する官民連携セミナーや研修  
生の受け入れ、水インフラに関する専門家派遣等を実施してきました。インドネシ  
アを含めた東南アジア等での下水道推進工法の普及を皮切りに、引き続き海外での  
インフラプロジェクトの推進に向け取り組んで参ります。

（事業概要）

- ・事業名：ジャカルタ特別州チリウン川地下放水路建設事業
- ・主な事業内容：内径3,500mm 延長約1.3km×2本の地下放水路建設
- ・本邦企業担当部分：設計施工計画・施工指導およびそれに伴う資機材の提供
- ・本邦企業：機動建設工業・ヤスタエンジニアリング・イセキ開発工機
- ・契約金額：約16億円（全体事業費 約50億円）
- ・工期：平成27年2月まで

[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13\\_hh\\_000226.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000226.html)

○より一層の汚濁負荷削減に貢献する下水処理技術を募集しています！

【流域管理官】

平成24年度水環境マネジメント検討会においては、高度処理技術など下水処理技術  
や維持管理方法が進捗している状況に鑑み、こうした技術が広く利用されるよう、

様々な支援策を講じる必要性が謳われました。

これらを踏まえ、効率的な汚濁負荷削減を推進するため、より一層の汚濁負荷削減に貢献する下水処理技術について、本日から2月14日までの間、広く技術を募集します。詳細は下記をご参照ください。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000315.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000315.html)

●国内最大規模の『水ビジネスの国際戦略拠点』整備が本格スタート

～日明浄化センター管理棟の建替えに着工～【北九州市】

北九州市上下水道局はこの度、かねてより準備を進めてきた『水ビジネスの国際戦略拠点』の工事に着手します。この拠点は、国内最大規模となります。

今回の整備では、老朽化が進んだ日明浄化センター管理棟の耐震性能を向上させるための建替えに併せ、地元企業の技術・製品の展示、国際研修やセミナー開催等の機能を設け、本市の水ビジネス展開に積極的に活用する計画です。

なお、着工にあたり、1月14日（火）10時から日明浄化センターにおいて起工式を行います。詳細は、北九州市ホームページ下記URLを参照願います。

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/26201031.html>

●2/7(金)大阪、2/14(金)東京で、下水道新技術研究発表会を開催します

【下水道機構】

地方公共団体および民間企業と共同研究した成果の紹介とその普及促進を目的として、公共団体および民間企業等の技術者を対象とした新技術研究発表会を開催いたします。2月7日（金）大阪市西区大阪科学技術センターで、2月14（金）東京都港区発明会館で、両会場とも13：00～16：45に開催します。

今回の発表会には、国土交通省下水道部の増田下水道事業課長（大阪会場）・加藤流域管理官（東京会場）と、東京大学大気海洋研究所木本副所長・教授を特別ゲストとしてお招きし、最新のホットな情報として、それぞれ「下水道をめぐる最近の話題」、「気候変動の将来予測とリスクについて～気候変動に関する政府間パネル第5次評価報告書第1次作業部会報告書を受けて～」についてご講演いただきます。当機構からは各研究部長が、今年度の主要テーマについて、研究成果を発表いたします。

なお、土木学会の継続教育(CPD)プログラムにも認定されていますのでご活用下さい。

参加をご希望される方は、当機構ホームページからWeb申し込みをお願いします。

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-form>

●「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」

説明会の開催について【全国上下水道コンサルタント協会】

人口減少や厳しい財政状況を踏まえて、従来の都道府県構想の徹底した見直しを加速するために、汚水処理を所管する3省（国土交通省、農林水産省、環境省）による初めての統一マニュアルとして、標記マニュアルが都道府県構想策定マニュアル検討委員会でとりまとめられ、1月中には公表される見通しとなっております。

つきましては、下水道関係者への周知と理解促進のため、国土交通省及び環境省から講師をお招きして、本年2月に東京と大阪の2会場でマニュアルの説明会を下記の

とおり開催致します。

なお、説明会に参加された方には、水コン協継続教育（CPD）プログラムの受講証明書が発行されます。

（東京会場）

- ・日時：2月17日（月）13：40～16：40
- ・会場：国立オリンピック記念青少年総合センター  
国際交流棟「国際会議室」（1F）
- ・定員：200名（定員超過の場合、申込み順で締め切ります。）

（大阪会場）

- ・日時：2月21日（金）13：30～16：30
- ・会場：（株）昭和設計大阪ビルセミナー室（2F）
- ・定員：130名（定員超過の場合、申込み順で締め切ります。）

お申込み方法等については下記 URL を参照下さい。

[http://www.suikon.or.jp/seika/file/seminar\\_20140217.pdf](http://www.suikon.or.jp/seika/file/seminar_20140217.pdf)

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■都道府県構想策定マニュアル説明会の開催について【下水道事業課】

（2月13日開催）

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000277.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000277.html)

→平成25年12月27日掲載

■「下水汚泥などのバイオマス資源有効活用技術講習会 in 熊本」の開催について

【土木研究所】

（2月6日、7日開催）

<http://www.pwri.go.jp/jpn/news/2014/0206/session.html>

→平成25年12月27日掲載

■「アジア水環境パートナーシップ（WEPA）公開セミナー」の開催について

【環境省】

（1月23日開催）

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17537>

→平成25年12月27日掲載

■住民参加の事例を学び、熱く語り合いませんか？GKPトークゲストに岩手県矢巾町の吉岡律司氏【GKP】

（1月17日開催）

<http://www.gk-p.jp/information.html>

→平成25年12月20日掲載

■「堺市三宝下水処理場機能移転工事完成及び供用開始 50 周年記念講演会」  
の開催について【堺市・JS】

(2月14日開催)

<http://www.jswa.go.jp/topics/kouenkai/251213kisyu.pdf>

→平成25年12月13日掲載

■NPO 21世紀水倶楽部設立10周年記念シンポジウム「地球環境時代の下水道を考え  
る」の開催について【NPO21世紀水倶楽部】

(1月14日開催)

<http://www.21water.jp/>

→平成25年11月22日掲載

=====

【参考情報】

◆災害時に下水・し尿円滑処理 県と全市町村が協定 愛知<12/28 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/aichi/20131228/CK2013122802000042.html>

◆「春の小川」さらさら再生 渋谷川に水流 遊歩道も整備<1/1 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/national/news/CK2014010102000103.html>

◆世界湖沼会議再誘致を 市民要望 県が検討<1/4 茨城新聞>

[http://ibarakinews.jp/news/news.php?f\\_jun=13887668660484](http://ibarakinews.jp/news/news.php?f_jun=13887668660484)

◆仙台の下水道、進化へ 災害リスク大幅減 暖房など熱源利用も<1/7 河北新聞>

<http://www.kahoku.co.jp/news/2014/01/20140107t13028.htm>

◆横浜市の下水处理場 1万平方メートルで太陽光発電<1/9 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/kanagawa/20140109/CK2014010902000115.html>

◆60分後の浸水被害予測 富山市中心部、ゲリラ豪雨で <1/9 富山新聞>

<http://www.toyama.hokkoku.co.jp/subpage/TH20140109411.htm>

---

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→<http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>

---